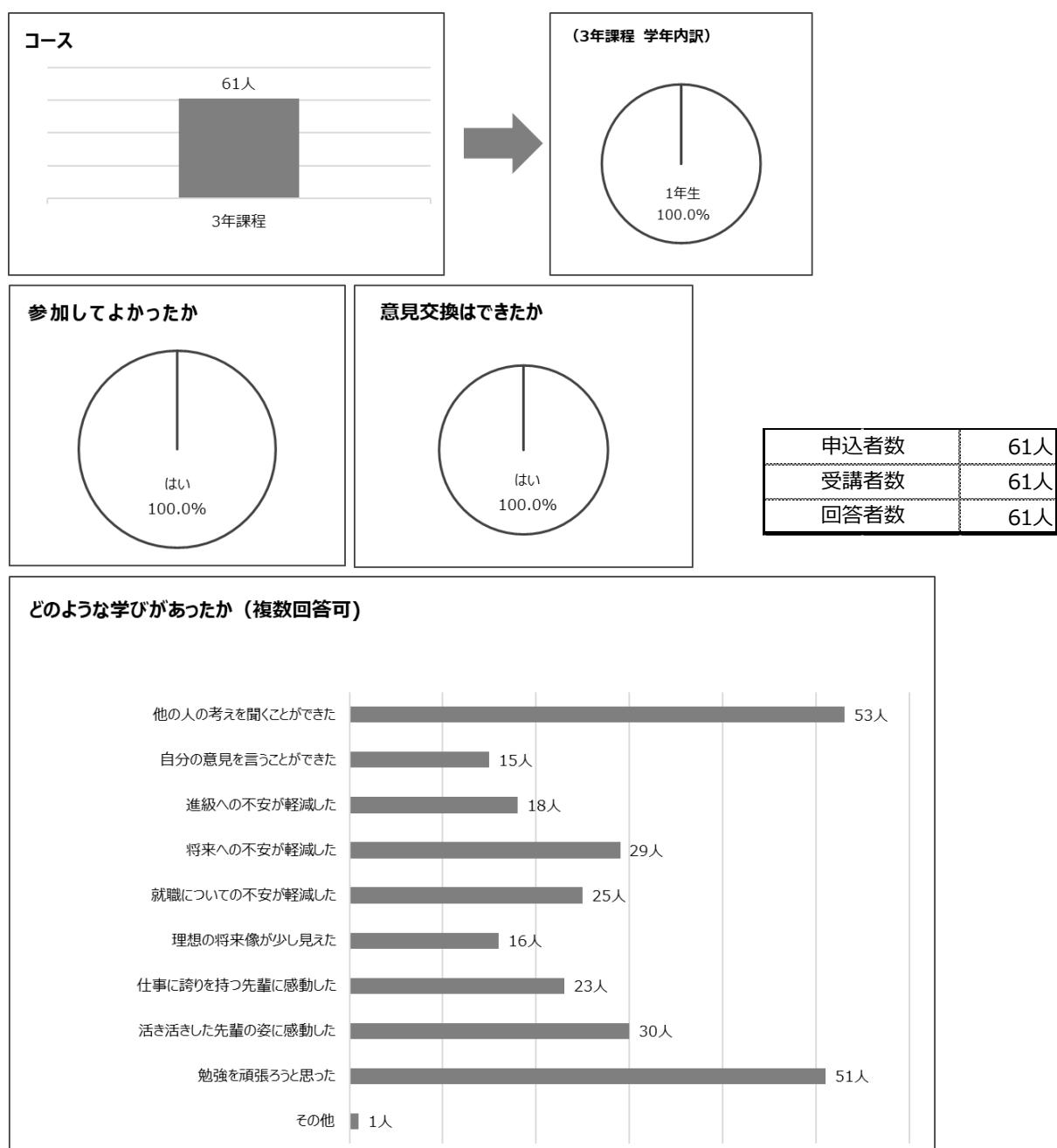


看護学生と看護職員との交流会

目的：看護学生、指導者、現場で活躍する看護職員とふれあい・交流・ともに学ぶ場を共有することにより、互いの現状理解、互いの役割発揮につなぎ、学生から切れ目なく看護キャリア形成につながる人材育成を目指す。

回	開催日	対象	受講者数	会場
1	7/29 (月)	自己の将来像が揺らいでいる県内の看護学生	61名	長崎県看護キャリア支援センター
	8/8 (木)			ながさき看護センター
2	3/11 (火)	領域別実習を直前に控え、不安を持つ学生	71名	長崎県看護キャリア支援センター
	3/19 (水)			ながさき看護センター

第1回



第2回

コース



(3年課程 学年内訳)

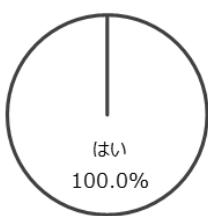


(2年課程 学年内訳)

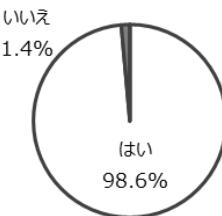


申込者数	71人
受講者数	71人
回答者数	70人

交流会に参加して
良かったか



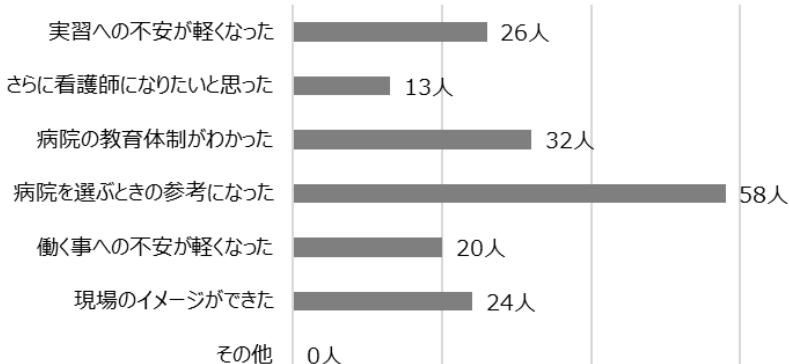
意見交換はできたか



グループワークがうまく進むよう
フォローがあったか



どのような学びがあったか (複数回答可)



＜評価＞

前年度、各学校に（実施方法/時期）に関するアンケートを実施したが特に変更希望の返答はなく、学生が参加しやすい時期を教員と相談して実施したり、看護キャリアの 1 つとして興味を持っている特定行為修了者に依頼したりと変更を試みた。広報としてもチラシの送付及びメール・電話等で個別に各学校へ参加お願いをしていった。しかし県南・県央地区での参加人数は振るわなかつた。

アンケートでは、参加して良かったと全ての学生が答えている。「自分が将来どんな看護師になって、どこで働いているかなどの未来像が少し見えてきたので、先輩たちの話を聞くことができて本当に良かった」「実際の看護師の仕事がどんな感じなのか考えることができ、実習への不安が減った」「勉強法や不安など、今の自分と照らし合わせられるようなことが聞くことができてよい時間だった」などの感想があり参加された学生にとっては良い結果となり、目標は達成できていると思われる。

＜課題と今後の取り組み＞

地区により参加者に偏りがあり、次年度に向けてカリキュラム導入の検討を依頼。今後も学校との連携を密にして参加人数確保を試みる